

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス すだっちイースト		
○保護者評価実施期間	2024年10月5日		～ 2024年10月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2024年10月5日		～ 2024年10月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの発達状況に応じたきめ細かい個別支援及び集団での支援	<ul style="list-style-type: none"> 発達状況に応じた個別支援を行っている。集団活動では、異年齢の子どもとの遊びやゲーム、創作活動などを通してルールやコミュニケーションスキルの習得に積極的に取り組んでいる。 担当者を中心に、子ども一人ひとりの支援に取り組んでいる。また、職員全員で振り返りを行い、改善につなげている。 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども同士の関わりの中で、子ども自身の自主性や主体性が導き出せるよう側面からの支援を行っている。
2	保護者支援及び関係機関連携	<ul style="list-style-type: none"> 保護者からの相談（家庭や学校等での困り感）に応じ、問題解決や改善策に積極的に取り組んでいる。例えば、学校や事業所において子どもが不穏になり情緒不安定となった場合には、学校や関係機関と連携を図り、その改善策に取り組むことができてきている。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、保護者のニーズに対応していけるよう、関係機関との連携を緊密に図っていく。また、保護者の不安や悩みに対応し、安心していただけるよう努める。
3	学校休業日における長時間支援	<ul style="list-style-type: none"> 学校休業日は支援時間が長い（特に長期休業中及び土曜日）ため、様々な野外（屋外）等での活動を積極的かつ計画的に取り入れている。 初詣、節分、花見、七夕、夏祭り、果物狩り、クリスマス会、餅つきなどの季節的行事。 田植え、稲刈り、芋ほり、シイタケの菌打ちなどの農作業に関わる体験活動及び収穫物による調理実習。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常的に静と動の活動の組み合わせを考慮した多彩なプログラムを取り入れた支援を行っている。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門職による支援	<ul style="list-style-type: none"> 作業療法士、言語聴覚士、心理的支援などの専門職による直接支援が望まれるが、現段階では確保できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 必要な人材が確保できるまでの間、現有的直接支援者が研修を重ねつつ、専門性につながる支援に取り組んでいく。
2	子どもに対する家族の対応力向上のための「ペアレントトレーニング」等、家族が参加できる研修の場の提供及び情報提供	<ul style="list-style-type: none"> 保護者からの相談は個別に対応しているが、多くの保護者を対象とした研修や情報提供の取り組みはできていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後は年間計画に研修等を組み込むなど、子どもに対する家族の対応力向上につなげていく。
3	学校授業日の外出行事	<ul style="list-style-type: none"> 学校休業日及び学校休校日での外出行事は計画的に実施できているが、学校授業日の外出行事ができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 校種による下校時刻が異なるため、到着時刻に差がある。全体ではできなくても、小集団でできるよう検討していく。